

祖師谷保育園だより

世田谷区上祖師谷3-20-17
社会福祉法人 雲柱社
祖師谷保育園
TEL.03-3326-1131



2021度12月号
2021年12月1日発行

今年もクリスマスが近づいてきました。3枚の写真は、調理の職員が何日もかけて作ったクリスマス用の『お菓子の家・ツリー』です。玄関と給食室前に飾っています。職員の個性を生かして、各自でデザインを考え作っています。作る過程を知っている私でも、完成し飾られたそれを見た時には、思わず「うわー！」と感嘆の声が漏れるほどでした。子どもたちからも「かわいい！」「おいしそう！」という声が聞こえてきます。クリスマスの楽しみ、喜びを盛り上げてくれる一コマです。

さて、昨年のクリスマスは、コロナ禍の中、出来る限りリスクを減らして、いかに子どもや保護者の皆さんと楽しめるかを考えて行いました。今年はほんの少し安心して、より共に祝い、楽しむことが出来そうです。祖師谷保育園のクリスマス会の中心に位置づけられている『聖誕劇』はイエス様がお生まれになった時のことを表現するものですが、今年もゆき組23人の子どもたちが取り組みます。導入として、職員たちによるペープサートの聖誕劇を見てもらいましたが、これにはほし組の子どもたちも参加し楽しみました。一緒に取り組めなくても、祖師谷保育園の大切な行事として引き継いでいって欲しいと願っています。



待つ！希望

聖書は「希望は失望に終わることがない、神の愛が注がれているからです」と言います。イエス様のお誕生を待ち望んで、何百年も過ごしたユダヤの人たち。何百年も前の預言を信じて過ごす時間は、どれほど長く感じたことでしょうか。でも神様の約束通り、イエス様はお生まれになりました。この約束の成就是どれほどの喜びをもたらしたのでしょうか。

待つ時間が長いほど、喜びが大きくなることは経験値からも知られていることです。全世界がイエス様のお誕生を喜び祝います。それがクリスマスです。

「救い主イエス様」は神様からのプレゼントです。感謝して、私たちもプレゼントを贈りあったりするクリスマス。今年の保育園からのプレゼントは、例年の各年齢に合わせた「絵本」に加え、幼児クラスの子どもたちには宮川ひろさんの「わたしの昔かたり」をプレゼントします。児童作家の宮川ひろさんが昔話を優しく語っているCD付です。知り合いの関係で、童話屋から頂いたものです。CDは大人の人もし是非!! 聞いてみてください。子どもたちにはママやパパの肉声で聞かせてあげてもいいですね。

でも、プレゼントは子どもたちにはサンタクロースからのプレゼントということになっていますから、その夢は大切にお取り扱いくださいね。

園長 伊藤美代子

12月の聖句

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」
この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

マタイによる福音書1章23節

誰も居ない所で一人きりになる。あるいは精神的に孤独を感じる。たったひとりになる状況はいろいろあります。でも知っていただきたいことは、どのような時にも神さまが共にいてくださることです。そして見守っていてくださることです。一人でも一人ではないのだということです。そのことを知るなら、それはきっと私たちの救いとなるでしょう。神の御子・イエス様は、私たちと共におられるためにこの世界にお生まれになりました。イエス様のお誕生は、神さまの私たちへの愛の証です。この神さまの愛に包まれて、みんなでクリスマスをお喜び、お祝い致します。

祖師谷教会牧師 小河由美子



ほけんだより12月



あっという間に師走。クリスマスを心待ちにする子どもたちのかわいらしい姿を目にする季節となりました。日本の新型コロナウイルスは減少傾向ですが、11月中旬からの祖師谷保育園では残念ながら、乳児クラスを中心としたヘルパンギーナの流行、全体では胃腸炎が数名等いました。ウィルスは飛沫・接触・排便等から感染します。とくに排便からは何ヵ月もの間ウィルスを排出するといわれていますので、元気になった後も注意が必要です。すべての感染から身を守るにはこまめな手洗いが有効です。お口の中にウィルスを入れないために、タイミング（外から帰ってきたら・トイレの後・食事を作る前・配膳前・いただきますの直前・ごちそうさまの後等）を意識してみると良いでしょう。

㊦ 年末年始の急病対策 ㊦

年末年始ほとんどの病院が休診となります。お子さんの急な発熱やけがに備えて救急当番医の確認をしておきましょう。

・・・「このくらいで救急病院に連れていくべき？何科へ連れていけば？受診できる近くの病院を知りたい」・・・

と悩むケースもありますね。

そんなときは

「こども医療電話相談事業」⇒ #8000（シャープ 80000 番）に電話してみてください。

今年は帰省予定の方も、あわてることのないよう確認しておきましょう。

※重症の場合は迷わず 119 番へ

厚生労働省ホームページより抜粋



★ こども医療電話相談事業【#8000事業】とは

★ 保護者の方が、休日・夜間のこどもの症状にどのように対処したら良いのか、病院を受診した方がよいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師に電話で相談できるものです。

★ この事業は全国同一の短縮番号 #8000 をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口に自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。

★ #8000の使い方



㊦ 予防接種に関するお願い ㊦

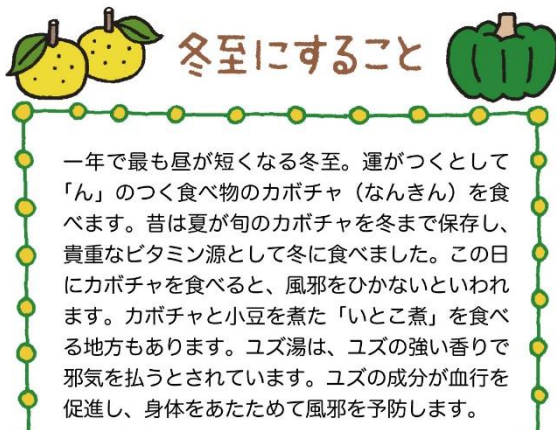
インフルエンザが流行するのでは？といわれている今年。これから注射をと考えている方もおられるかもしれませんが。予防接種後は（インフルエンザに限らず）お家で様子をみていただくことをお願いしています。できる限り夕方に接種して、ひと晩様子をみていただくようよろしくお願いいたします。

食事だより

社会福祉法人雲柱社 祖師谷保育園

2021 年度 調理 12 月号

早いもので今年も最後の月となりました。ここ数日のあいだに朝の冷え込みもぐっと深まったように感じられます。師走と書くだけあってクリスマスに年末と慌ただししい 12 月。つい食生活や生活リズムも乱れやすくなりますが風邪に負けない体づくりのためにも、手洗い・うがいで予防を大切にしながら栄養バランスのとれた食事を心掛けていきたいですね。12 月に迎える 24 節気には本格的に冬が到来する頃を意味する「大雪(たいせつ)」(12 月 7 日頃)と「冬至」(12 月 22 日)があります。冬至と聞くとどんなことを思い浮かべますか？



★今月のレシピ

ビスケットケーキ

- 材料 ・マリービスケット 1 箱 ・ココア 5g ・水 15g ・牛乳 80g
・上白糖 6g ・いちご 5 枚 ・生クリーム、砂糖 適量
- 〈作り方〉 ・ココア、水、牛乳、上白糖を鍋で合わせてホットココアを作る
・少し冷まして温かいうちにマリービスケットを 1 枚ずつさつと
ココアにくぐらせて重ねていく(浸しすぎないのがコツ)
・ギュッと重ねて棒状にしたものをラップでしっかり包み冷蔵庫で冷やす
→この間に生クリームと砂糖を合わせてホイップしておく
・固まったビスケットを横にして斜めにカット。その上に生クリーム、いちごを
乗せて出来上がり。(好みで粉糖やチョコレートで飾りつけても楽しいです)



◎11 月の子どもたち◎

11 月は子どもたちにとって食に関わるイベントが複数ある月となりました。

11 月 10 日にホールで幼児クラスの子どもたちに向けて魚の解体を見てもらう機会を作りました。

つきぐみさんは鰻の三枚おろし、ほしぐみ・ゆきぐみさんには鰻と鯖の三枚おろしとスルメイカをさばくのを目の前で見学してもらったのですが、恐々と見つめる子もいれば身を乗り出して注意深く見る子。さばいている途中からの内臓の臭いにびっくりする子など様々な表情を見せてくれました。久しぶりに出刃包丁を手にした私もドキドキでしたが「がんばれ～」と応援してもらえて嬉しかったです。また偶然にも、かなりりっぱな鯖の口の中をのぞいてみると歯が見えるだけでなく飲み込んだ小鰻がいて、思いがけず食物連鎖のありさまをかいまみる機会となりました。

目の前でさばかれる魚の印象は強かったようでサイクルメニューの 2 回目のアジフライバーガーの日にも「この間のお魚と同じやつなんだよね～」と盛り上がる場面もあり、残食もいつになく少なくて素直な子どもたちにほっこりしました。

19 日の縁日おやつではホールでポップコーンとわたがしを作り、子どもたちに出来上がる様子を見せながら配ることに。

テーマパークにあるような大きなポップコーン機に興味津々。ガラスケース越しにポンポンと音を立ててはじけるポップコーンに盛り上がり、ホール中にただよる香りにはしゃぐ子どもたち。棒にからみついていくわたがしの様子をじっと見つめながら笑顔で「大きいのにしてね」とリクエストする子も。

コロナ禍のもとそしがやまつりなどの行事は行えていませんがこうしたお楽しみの機会も大切にしていきたいと思います。

クッキングではゆきぐみさんは豚汁づくりをしたり、ほしぐみさんは調味料を味見しながらドレッシングを考案したり(2, 16 日のサラダの味付けになります)

初めてピーラーにも挑戦しました。つきぐみさんは玉葱の皮むきや果物洗いなど日々のお手伝いをしてくれています。

また、アドヴェント期間を迎えましたが、今年もエントランスと調理室の前にお菓子の家やツリーを作成して飾りました。

調理の私達も頑張って去年とはまた違った雰囲気のものが出来上がってます。

“どこになにがあるのかな？”のクイズも貼ってあるので楽しんでくださいね。





つい先日水遊びをしていた気がしますが、あちこちにクリスマスのしつらえが登場し、生誕劇の音が聞こえ始め、師走を感じる季節となりました。

10月のハロウィンと12月のクリスマスに挟まれて「11月はかわいそう」と幼い頃の我が子が言ったことを思い出し、ひろばでは11月を「どんぐりの月」として活動しました。「スタッフおすすめの本」として「どんぐりころちゃん」を紹介し読み聞かせをしたり、どんぐりや松ぼっくりなど秋の実を使い「おひさま秋あそび」として園庭遊びをしたりしました。どんぐりは、ゆきぐみとほしぐみの子どもたちがお散歩先でひろばの赤ちゃんのためにと拾ってきてくれました。秋の実りをたっぷり使って広い園庭の、ぽかぽかのおひさまの下で秋の外遊びができました。

「人」的にも、「物」的にも豊かな保育園の環境が、地域の子育てする皆様をまるごと包み込み応援できることを、そして来てくださった方が喜んでくださることをとても嬉しく思います。

スタッフおすすめ
絵本

ゆき・ほしぐみさんが
プレゼントしてくれた
どんぐり



どんぐり
ころころ



どんぐり
ままごと



制作コーナーで
カップケーキとマラカス作り



落ち葉フールで
たからさがし



たからものは
どんぐりベルト



おひさま
秋あそび